

# 坂ノ市地区

## 1. まちづくりの目標

### 「快適でうるおいのある生活文化産業拠点の形成」



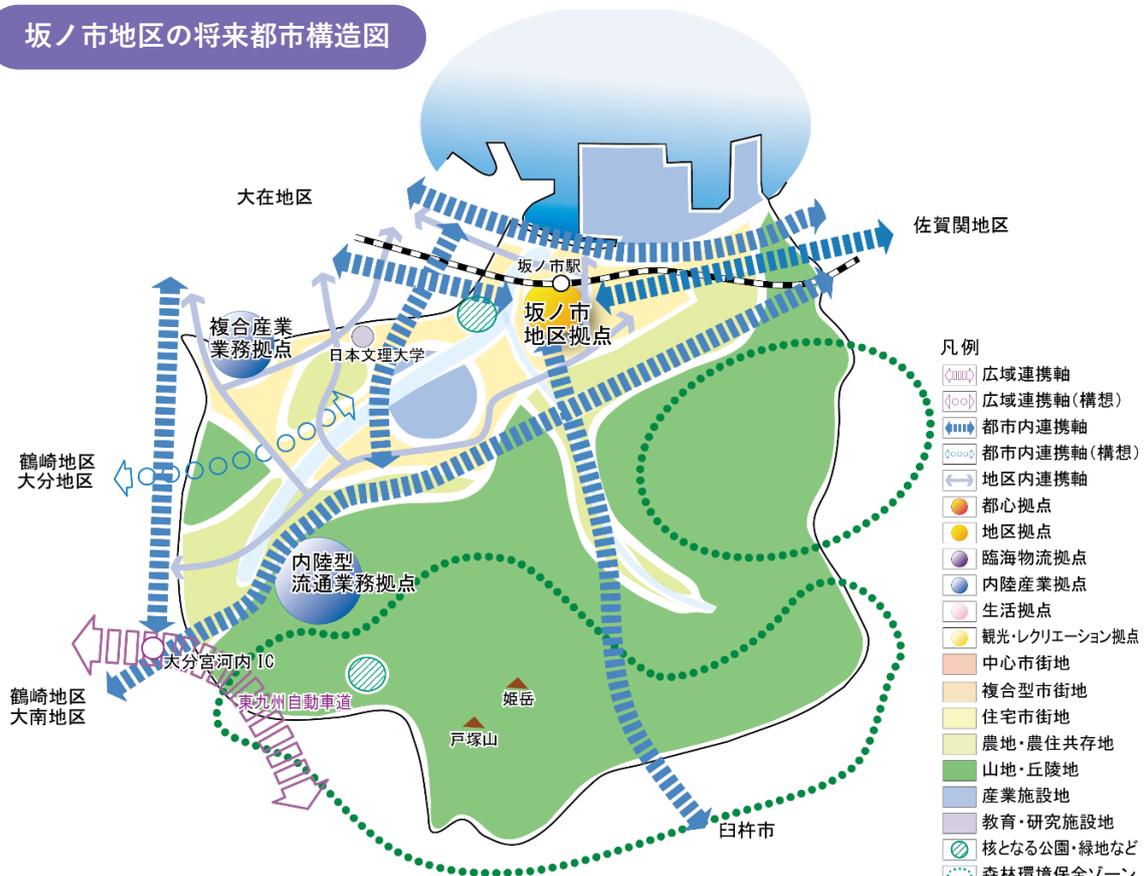
本地区は、地域の拠点として機能しており、萬弘寺の市をはじめとする歴史や文化を今に伝えています。

JR 坂ノ市駅周辺を中心に、区画整理事業は完成したものの、地区拠点としてのより高い都市機能を備え、快適で自然や文化のうるおいに満ちたまちづくりが必要です。

また、地区内には、複合産業業務拠点や内陸型流通業務拠点など数多くの企業が立地しており、これら拠点の機能向上、活用促進及び連携強化をはじめ、交通環境の優位性を生かしたさらなる産業機能の集積など、地域経済の活性化や雇用の創出につながる企業の立地が期待されます。

このようなことから本地区は、「快適でうるおいのある生活文化産業拠点の形成」をまちづくりの目標とします。

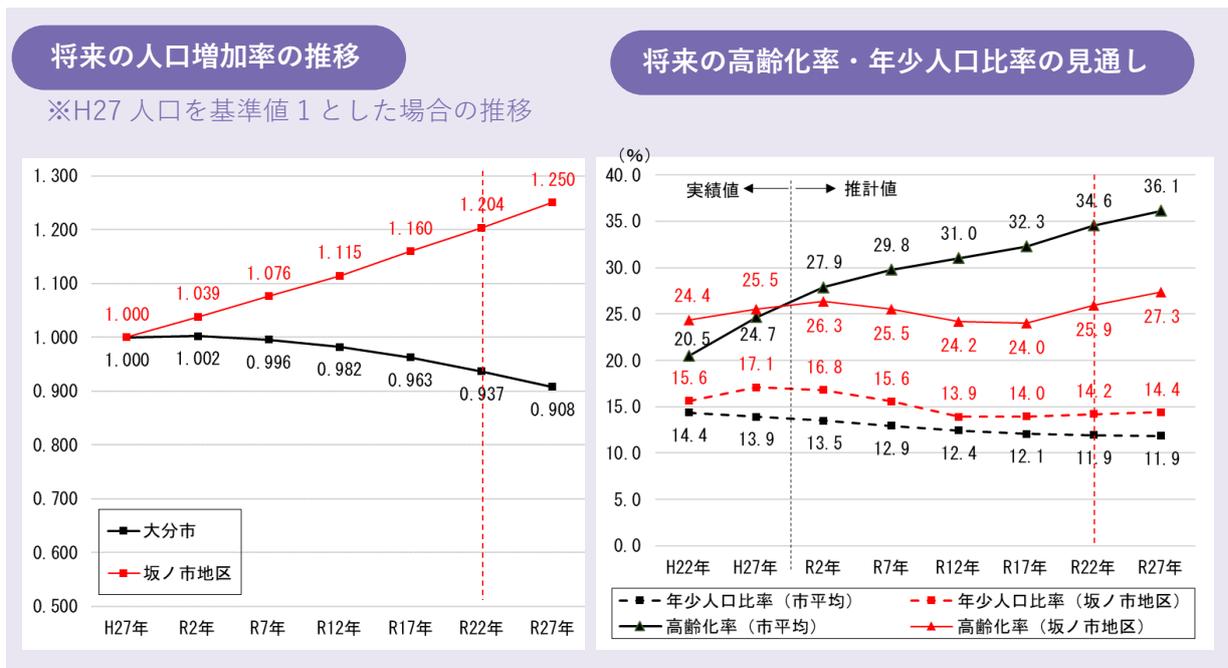
坂ノ市地区の将来都市構造図



### 第3章 地区別構想

#### 2. 地区の現況

- ・地区南部には九六位山系の山林があり、丹生川沿いには条理地割が残る自然と歴史的資源（萬弘寺の市など）が豊かな地区です。
- ・土地区画整理事業が完了し、JR 坂ノ市駅を中心に計画的な市街地が形成され、新しいまちづくりを進めています。
- ・内陸部には工場が集約化されており、東九州自動車道などの整備を生かしながら流通業務団地が整備され、本市の産業振興の新たな展開がみられます。
- ・地区人口は、昭和 40 年に約 1.3 万人であったものが、昭和 45 年から昭和 50 年にかけて増加し、平成 27 年には 1.8 万人を超えています。
- ・将来人口は、増加し、令和 22 年には現在より 2 割程度増加する見通しです。
- ・高齢化率は平成 27 年で 25.5% となっており、令和 22 年には 25.9% と、市全体よりも低くなる見通しです。年少人口は、平成 27 年には 17.1% ですが、令和 22 年は 14.2% となり、少子化がやや進行する見通しです。

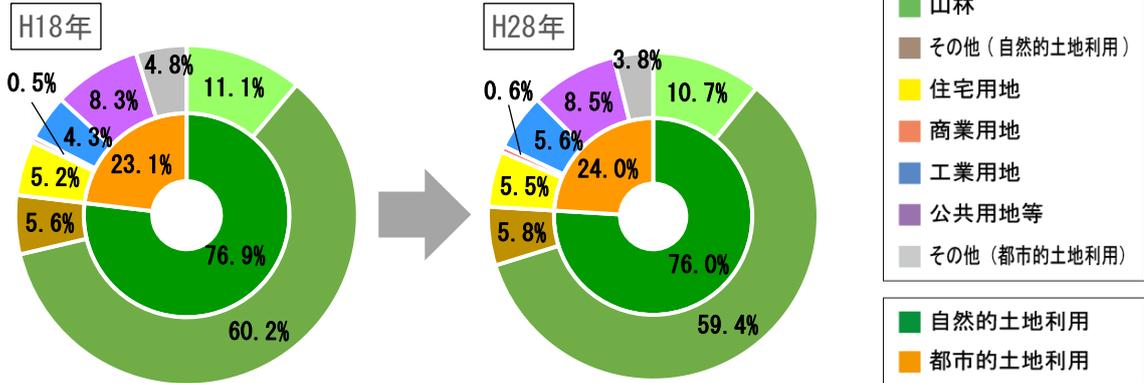


※推計値は、「大分市人口ビジョン」に示す「地域別の人口推移」を基に作成

※この推計は、2010年から2015年までの5年間の人口変動が将来にわたって続くと仮定し計算したものであるため、2016年以降に人口変動に大きな影響を及ぼす要因が発生した場合、将来人口推計が大きく変化する可能性があります。

- ・土地利用動向については、地区面積 4,985ha で宅地や道路などの都市的土地利用面積が 24.0%、農地や山林などの自然的土地利用面積 76.0%となっています。平成 18 年から平成 28 年にかけては、自然的土地利用がやや減少しています。

#### 土地利用の動向



- ・交通体系としては、東西方向の都市内連携軸として(都)臨海産業道路、国道 197 号が整備され、JR 日豊本線も併走しています。また、南北方向には県道臼杵坂ノ市線などの幹線道路が整備されています。
- ・地区の中心部では土地区画整理事業の完成により、幹線道路及び生活道路などの都市基盤が整備されています。郊外部には国道 197 号東バイパスが整備され、流通業務団地や東九州自動車道大分宮河内 IC に連絡しています。



坂ノ市市民センター周辺



臨海産業道路

## 第3章 地区別構想

### 3. まちづくりの課題

#### 1 | 土地利用・市街地整備

- ・ JR 坂ノ市駅周辺部においては、地区の拠点として商業・業務機能の集積が望まれています。
- ・ 臨海部の埋立地や市街地内の低・未利用地における計画的な土地利用の誘導が必要です。
- ・ 内陸部の工業地帯では、工場と周辺の住宅が調和した市街地の形成が必要です。
- ・ 岡地区周辺においては、情報通信機器の製造及び関連する産業を計画的に誘導し、複合型産業業務拠点の形成を図ることが必要です。
- ・ 東九州の広域的な流通拠点を形成するために、流通業務団地における計画的な土地利用の促進が必要です。
- ・ 細地区は狭あい道路や木造建物の密集がみられるため、住環境の整備が必要です。
- ・ 市街地周辺や山間部の幹線沿道などに点在する既存集落では、人口流出に対応し、地域コミュニティの維持や良好な住環境の整備が必要です。

#### 2 | 交通施設

- ・ 広域幹線道路である国道 197 号の整備が求められています。
- ・ (都) 花園細線 (国道 197 号東バイパス) の久土・細間の事業化が求められています。
- ・ 佐賀関方面との連携を強化するため、臨港道路細・馬場線の東部延伸整備が求められています。
- ・ 小佐井小学校周辺の安全・安心な歩行空間の確保に向けた取組が求められています。
- ・ JR 坂ノ市駅の交通結節機能の強化が必要です。
- ・ 少子高齢化の進展等に備え、交通弱者の移動の利便性や安全性を向上させる必要があります。

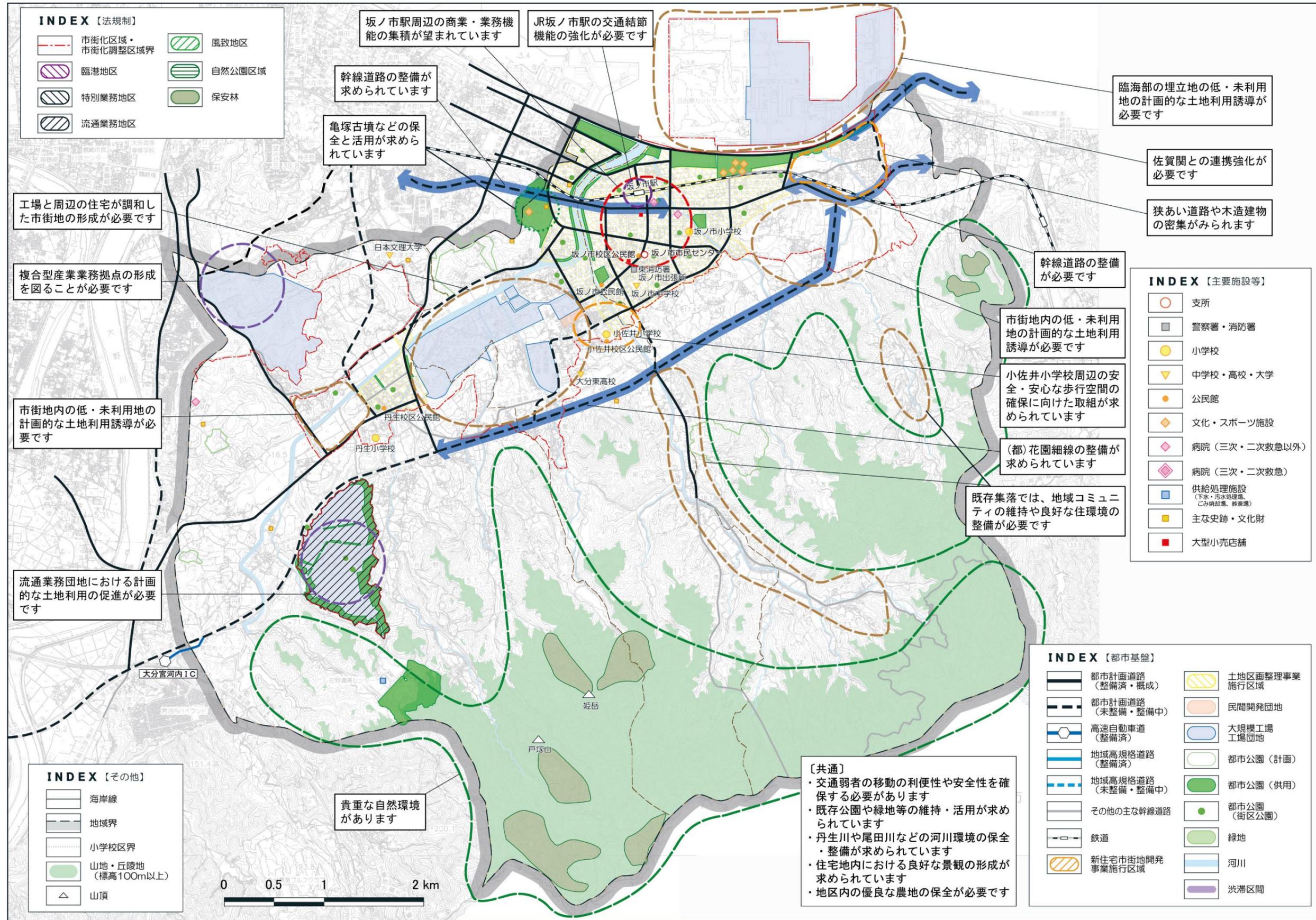
#### 3 | 環境・景観

- ・ 戸塚山や姫岳などの貴重な自然環境の保全が必要です。
- ・ 既存公園や緑地等の維持・活用が求められています。
- ・ 丹生川や尾田川などの河川環境の保全・整備が求められています。
- ・ 住宅地内における緑豊かで良好な景観の形成が求められています。
- ・ 地区内の優良な農地の保全が必要です。

#### 4 | その他

- ・ 萬弘寺の市や亀塚古墳などの地域の伝統文化や歴史的資源の保全と活用が求められています。

坂ノ市地区の現況及び課題



序章

都市計画  
マスタープランとは

第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想  
坂ノ市地区

第4章 計画の実現に向けて

## 4. まちづくりの方針

## 1 | 土地利用・市街地整備

- ・ JR 坂ノ市駅周辺では、商業・業務施設の集積を誘導し、坂ノ市市民センターなどの公共施設を生かした地区拠点の形成を図ります。
- ・ 臨海部の埋立地に、工業系土地利用の純化のための計画的な臨海型産業の土地利用をはたらしかけます。
- ・ 内陸部の久土地区などに立地している工業地の土地利用を維持するとともに、周辺の住宅との調和を図ります。
- ・ 岡地区周辺では、複合産業業務拠点の形成を図ります。
- ・ 流通業務団地では、流通施設等のさらなる立地誘導を図り、東九州の広域的な内陸型流通業務拠点の形成を推進します。
- ・ 丹生地区や国道 197 号南側の東上野地区などにおいては、周辺の土地利用動向を考慮しつつ、計画的な土地利用への誘導を図ります。
- ・ 細地区では、生活道路の改善などによる計画的な住環境の整備を推進します。
- ・ 人口減少の著しい東上野、木田、細八丸地区では地域コミュニティの維持、形成に向け適切な制度運用を行うとともに、集落環境の充実を図ります。

## 2 | 交通施設

- ・ 国道 197 号の未整備箇所の整備を目指します。
- ・ (都)花園細線の未整備箇所の整備実現に向けた継続的な取組を進めます。
- ・ 都市内連携軸を強化するために臨港道路細・馬場線の東部延伸整備を促進します。
- ・ 小佐井小学校周辺の安全・安心な歩行空間の確保に向けて(都)里屋山線の整備などを促進します。
- ・ JR 坂ノ市駅における交通結節機能の強化に向けた取組を進めます。
- ・ 歩道などのバリアフリー化を推進します。
- ・ 公共交通の充実に向けて関係機関にはたらきかけます。

## 3 | 環境・景観

- ・ 戸塚山や姫岳を中心とした山林の自然環境の保全を図ります。
- ・ (都)臨海産業道路南側の海岸線沿いの公園・緑地については、地区のレクリエーションの場として維持・活用を図ります。
- ・ 亀塚古墳公園周辺区域のまとまった緑や歴史的資源の保全を図ります。
- ・ 自然景観を楽しみ、植物とふれあうことのできる佐野植物公園の利用を促進します。
- ・ 丹生川や尾田川などの河川環境の保全・整備を図るなど、うるおいある親水空間の形成を目指します。

### 第3章 地区別構想

- ・街路樹や法面緑地の維持・整備・宅地内緑化のはたらきかけなど、住宅団地内の緑化を促進します。
- ・市街地と地区南部に広がる優良な農地と田園環境の保全を図ります。

#### 4 | その他

- ・萬弘寺の市や亀塚古墳などの歴史的資源の保全と、観光資源としての有効活用を図ります。

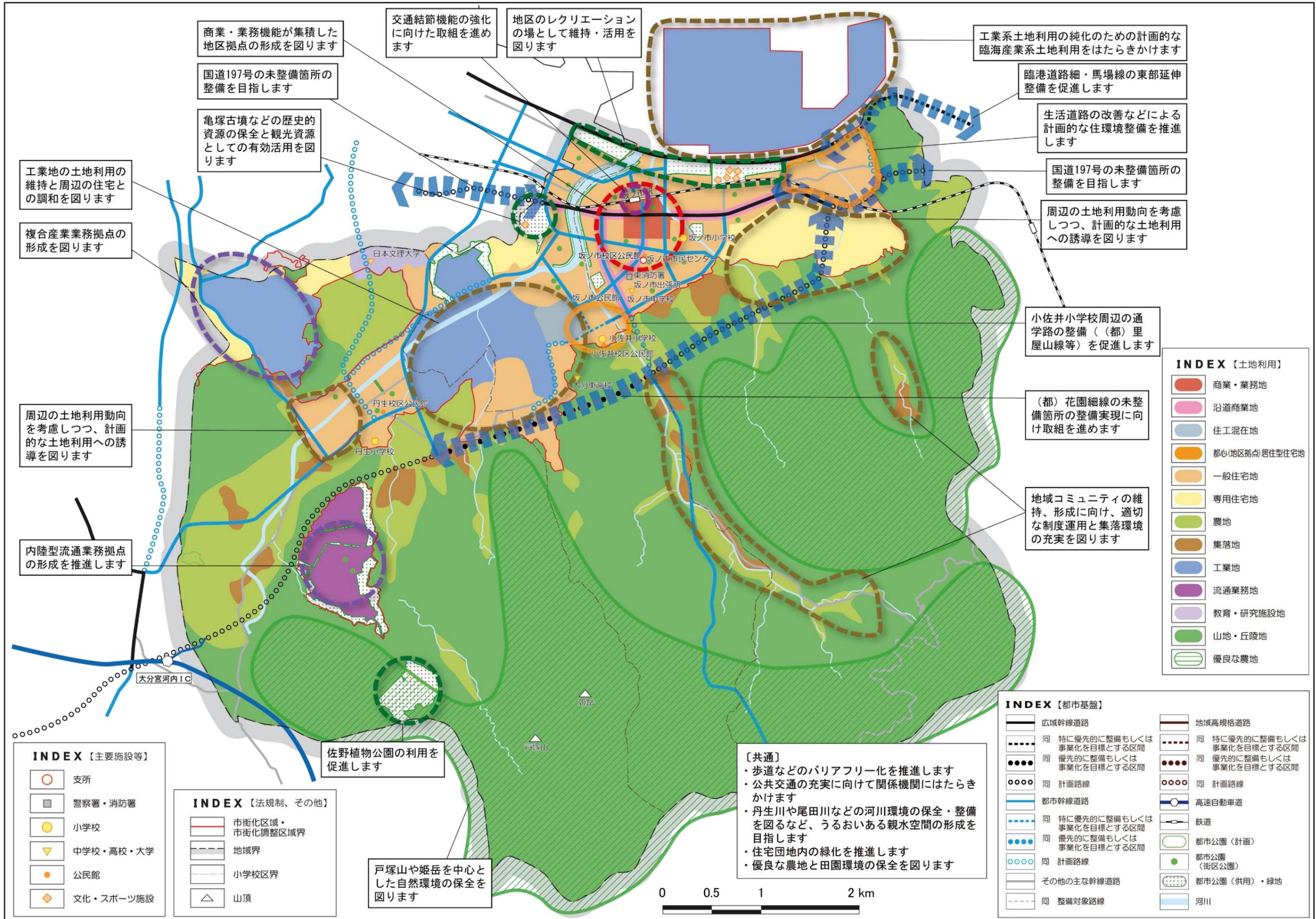


丹生川



亀塚古墳

坂ノ市地区のまちづくりの方針図



商業・業務機能が集積した地区拠点の形成を図ります

交通結節機能の強化に向けた取組を進めます

地区のレクリエーションの場として維持・活用を図ります

工業系土地利用の純化のための計画的な臨海産業系土地利用をはたらきかけます

臨港道路細・馬場線の東部延伸整備を促進します

生活道路の改善などによる計画的な住環境整備を推進します

国道197号の未整備箇所の整備を目指します

周辺の土地利用動向を考慮しつつ、計画的な土地利用への誘導を図ります

工業地の土地利用の維持と周辺の住宅との調和を図ります

複合産業業務拠点の形成を図ります

亀塚古墳などの歴史的資源の保全と観光資源としての有効活用を図ります

国道197号の未整備箇所の整備を目指します

周辺の土地利用動向を考慮しつつ、計画的な土地利用への誘導を図ります

小佐井小学校周辺の通学路の整備（都）里屋山線等を促進します

（都）花園細線の未整備箇所の整備実現に向け取組を進めます

地域コミュニティの維持・形成に向け、適切な制度運用と集落環境の充実を図ります

内陸型流通業務拠点の形成を推進します

佐野植物公園の利用を促進します

戸塚山や姫岳を中心とした自然環境の保全を図ります

**INDEX【土地利用】**

	商業・業務地
	沿道商業地
	住工混在地
	都心(地区拠点)居住型住宅地
	一般住宅地
	専用住宅地
	農地
	集落地
	工業地
	流通業務地
	教育・研究施設地
	山地・丘陵地
	優良な農地

**INDEX【都市基盤】**

	広域幹線道路
	同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
	同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
	同 計画路線
	都市幹線道路
	同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
	同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
	同 計画路線
	その他の主な幹線道路
	同 整備対象路線
	地域高規格道路
	同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
	同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
	同 計画路線
	高速自動車道
	鉄道
	都市公園(計画)
	都市公園(街区公園)
	都市公園(供用)・緑地
	河川

**INDEX【主要施設等】**

	支所
	警察署・消防署
	小学校
	中学校・高校・大学
	公民館
	文化・スポーツ施設

**INDEX【法規制、その他】**

	市街化区域・市街化調整区域界
	地域界
	小学校区界
	山頂

**【共通】**

- 歩道などのバリアフリー化を推進します
- 公共交通の充実に向けて関係機関にはたらきかけます
- 丹生川や尾田川などの河川環境の保全・整備を図るなど、うるおいある親水空間の形成を目指します
- 住宅団地内の緑化を推進します
- 優良な農地と田園環境の保全を図ります



序章 都市計画マスタープランとは

第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想 坂ノ市地区

第4章 計画の実現に向けて